

2年目の春が訪れ
 『地道にコツコツ大胆に』
 つぼみから開花へ

会員の皆様のご協力により、初年度は十月に総会・研修会、二月に第2回研修会を開催することができました。多くの糖尿病療養指導士ならびに糖尿病看護に興味のある看護師が集い、実践行動をする中で、悩みや喜びなど活発な意見交換により、実践知を共有することができました。またモチベーションが向上するとともにお互いがつながり、ネットワークの土台が築かれたように思います。

参加者の声・・・

今年も六月に第3回総会・研修会、十月に研修会、そして間でミニ研修会も取り入れて、実践現場の看護師のニーズに対応した実践に役立つ知識や情報を提供できるようにしたいと考えています。皆様のご意見、ご希望を頂戴するとともに、参加をお待ちしております。

参加者28名のうち25名よりアンケートを頂いた結果、研修会に期待する事として、「情報交換」や「看護実践の問題解決」「知識の向上」を上げていました。また、約90%以上の方が「悩みや問題を共有することができた」「新たな視点で問題を捉える事ができた」「解決への糸口を得た」と答え、「目的は達成された」と答えていました。そして、「他施設の看護師と知り会えた」「連絡を取って行きたい」とネットワーキング作りにも積極的な答えを得られ、関心の高さが伺えました。

第2回研修会報告

柔らかな日差しが差し込んでくる教室に立春を感じた二月十一日、香川大学医学部看護学科において、第2回研修会が行なわれました。

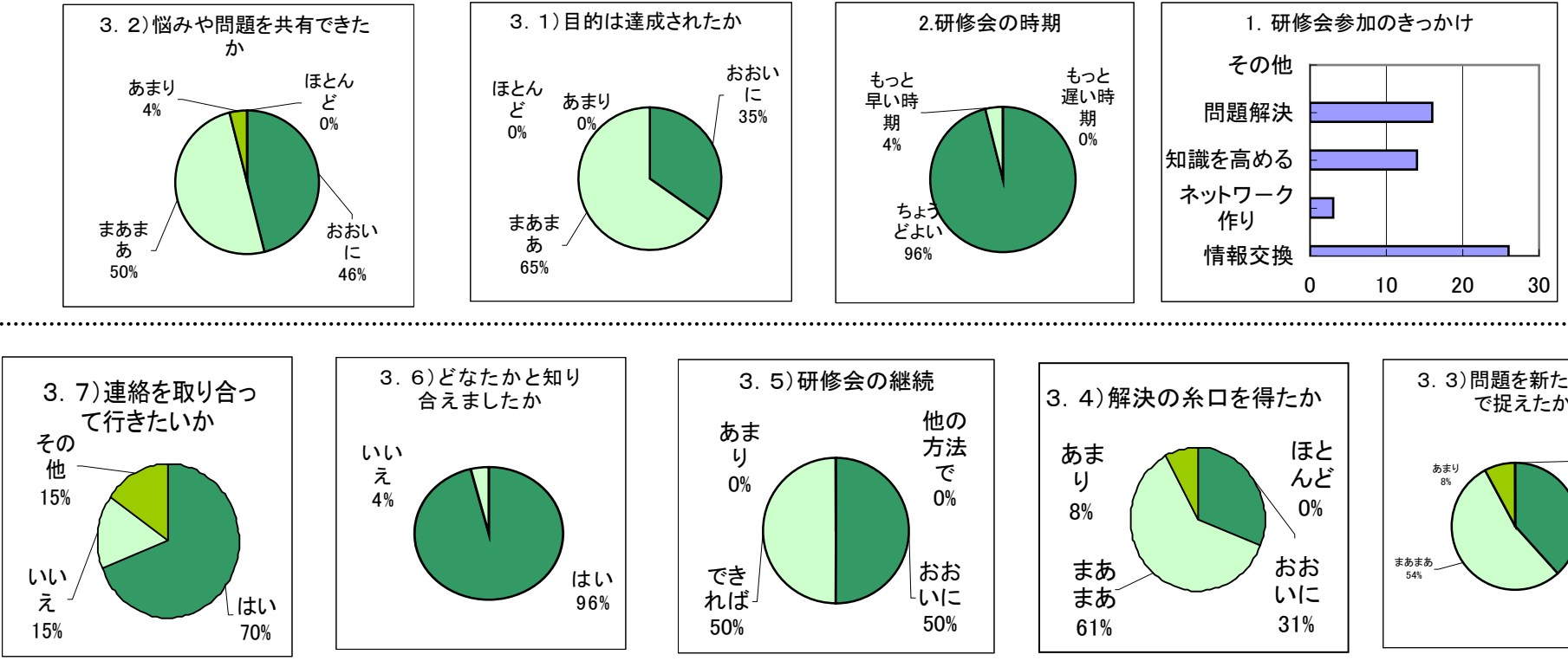
テーマを「各施設での療養指導の現状と問題点」とし病棟と外来に分かれて、グループ討議を行ないました。

始めに、坂出市立病院の溝上CDEより「病棟での問題点」、香川労災病院の吉川 CDEより「外来での問題点」についてプレゼンテーションを行ない、その後、グループ間で討議し、最後に発表を行いました。すべて

の人が積極的に発言し、問題に対し活発な意見が飛び交いました。そして、「ひと」「もの」「時間」についてお互いの施設の現状や問題について経験、実践、展望などの様々な角度から討議しあうことができました。



第2回研修会
 アンケート結果報告



今年度の研修会について

今年度は、六月と十月に講師を招いて開催する予定です。内容は、「患者さんの『内なる声』に耳を傾けよう」とし、六月に第1弾、十月に第2弾の2回シリーズで行います。研修会のねらいは、明日からの行動実践に繋がるコミュニケーションスキルを高めることを目指しています。

講師は、四国学院大学社会福祉学部教授、島影俊英先生にお願いしております。島影先生は、医療福祉論医療ソーシャルワークの研究をされております。対人援助について様々な分野で講演会を行っています。

患者さんの『内なる声』に耳を傾け、心が開き行動変化に繋がるアプローチが期待でき、非常に楽しみにしております。皆様も是非同じ悩みをもったコミュニケーションスキルを身につけたいと思っっている同僚とともに参加されることを心よりお待ちしております。

『実践紹介コーナー』を新しく設けます

『会員の声』より「他施設での実践が知りたい」という実践のアピールがしたい」といった要望に応じて、今回より、「各施設からの実践紹介コーナー」を設けることになりました。

今回のテーマは「糖尿病クリニックパス」とします。糖尿病教育入院パスやインスリン自己注射パスなど何でも結構です。

紹介の方法は、パネル展示で行ないます。展示に関しては特に規定を設けません。パスだけの掲示でもいいし、説明文や研究発表のような形式でもかまいません。形式にはとらわれず気楽な紹介コーナーと考えています。展示していただける方は、是非連絡をお持ちしています。

香川県看護協会に行ってきました

一月に当会会長宮武が香川県看護協会に出向き、山本良子会長と、香川糖尿病看護ネットワーク「Qの会」の設立主旨や活動報告、協力依頼をしてまいりました。山本会長も、私たちの活動に賛同し、協力や後援などのお言葉をいただきました。

近隣のCDE活動に参加して

三月十一・十二日の二日間、愛媛県で四国のCDEを対象としたアイランドセミナーが開かれることになり、当理事会より2名が参加しました。今治のホテルで1日半の日程で、テーマを「コミュニケーション」とし、「コミュニケーションスキル」や「タイプ別のアプローチの仕方」など講義や演習、グループ討議を行いました。「病院経営から見たCDEの役割」「オーダーメイド医療」について講演や各施設での研究発表のパネルセッションなど充実した研修会でした。

なお、徳島では、徳島糖尿病看護研究会が立ち上がり、三月二十一日に第1回総会・研修会が開催されました。

学会・研修会のご案内

- 認定更新のための研修単位が取得できる予定の研修会をお知らせします。
- ☆ 第14回日本糖尿病教育看護学会学術集会
 九月十六・十七日 国立京都国際会館
- ☆ 第49回日本糖尿病学会年次学術集会
 五月二十五・二十七日
 東京国際フォーラム
- グローバル化する糖尿病 アジアからの発信



編集後記 病院といった枠を超えて同じ志を持つ看護師・CDEとのネットワーク作りは、仲間が増える安心感・組織として成長する力強さ、明日に向かって進む雄大な、無限の広がりを感じています。皆様とともに成長したいと思っております。皆様のご意見をお待ちしています。

広報担当 渡辺祥子

発行所 香川県糖尿病療養指導士看護ネットワークの会
 FAX 087-891-2232 宮武陽子